

看護小規模多機能コープ五日市

2024年度第2回 運営推進会議議事録

参加：広島市佐伯区観音地区民生委員児童委員 北村 由美子様
城山・五日市観音地域包括支援センター 小島 昌子様
看護小規模多機能コープ五日市 管理者 永井 恵里香
看護小規模多機能コープ五日市 介護支援専門員 野田 勝美
コープ五日市訪問看護支援事業所 所長 浴長 佐枝子
(定期巡回随時対応型訪問介護看護生協いつかいち 24 管理者)
看護小規模多機能コープ五日市 主任代行 和田 直子

1. 事業運営の基本方針や理念

利用者1人ひとりの人格を尊重し、利用者の心身の状況、希望、その置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス（介護、看護）、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ、生協10の基本ケアの（自立支援）の考え方で支援します。また地域への参加や住民との交流を図り、地域での暮らしを支援します。

2. 利用状況（2024/5/1~6/22 現在）

・ 介護度

| | 介1 | 介2 | 介3 | 介4 | 介5 | 計 | 平均介護度 | 新規 | 中止 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-------|----|----|
| 7月 | 6名 | 2名 | 6名 | 1名 | 3名 | 18名 | 2.6 | 1件 | 0件 |
| 8月 | 5名 | 3名 | 6名 | 2名 | 3名 | 19名 | 2.7 | 1件 | 1件 |

男女比について質問があった。7月女性16名男性3名、8月女性16名男性4名

・ 年齢

| 60歳~ | 65歳~ | 70歳~ | 75歳~ | 80歳~ | 85歳~ | 90歳~ | 95歳~ |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 0名 | 1名 | 1名 | 1名 | 4名 | 5名 | 5名 | 2名 |

・ 地域

佐伯区17名（美鈴が丘、利松、八幡、千同、坪井、屋代、三筋、三宅、五日市中央、五日市、新宮苑、楽々園、海老園）

西区2名（井口台、井口鈴が台）

3. 新規受け入れ状況

7月1名は小規模多機能から医療看護的支援が必要となった方の受け入れ。8月1名は有料老人ホームより家族の在宅復帰への強い希望があった方の受け入れ。9月4名、10月2名受け入れ予定。

褥瘡があり長期間、安静介護で寝たきりで過ごしておられた方に10の基本ケアを実施し座って過ご

すことで1日1日表情がよくなった事例を説明した。

4. 事故・苦情の発生状況

事故：薬の渡し間違い

苦情：接遇

5. 日常のサービス内容

・ 通い：5名～13名/1日

・ 訪問：3件～12件/1日

訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護（服薬確認、掃除、洗濯、買い物、食事確保など）

・ 宿泊：2名～7名/1日（1泊～5泊）

*退院直後や老健退所後など不安定な方には、1～2週間連泊していただき、体調が安定したら、通いサービスや訪問サービスを組み合わせて在宅復帰につなげています。

6. 利用者の健康対策に関する取り組み

生協10の基本ケアに基づいた自立支援のケアを行っています。

資料を見てもらいながら説明した。

・ レクリエーション（歌、ゲームなど）、個別リハビリ

PCで8/27夏祭りの写真を紹介した。

・ 毎日昼食前に、リハビリ職員による口腔体操（20分程度）

7. ボランティアの受け入れ状況や行事参加など地域連携への取り組み

・ 月1回お話しボランティア1名受け入れ（いきいきポイント対象）

・ サロン活動に参加（うたごえ喫茶、映画鑑賞会、健康マージャンなど）

・ 広報活動

・ パンプキン通信発行

8. 事例紹介

女性 96歳 要介護度5 長女夫婦と同居

既往歴：2020年（92歳ごろ）虚血性心疾患、認知症

2019年心不全

2018年心筋梗塞

2007年大腸がん

利用までの経過

2024年5月、屋外で転倒、左大腿骨転子部骨折のため入院。認知症のため、拒薬、拒食あり、気分変動によりリハビリが進まず、自立歩行に至らず、ベッド上で過ごす時間が増えた。介助量が増え、自宅での生活が困難となった。7/4退院前カンファレンスで、通いと泊りが利用できる小規模多機能を利用し自宅で過ごす提案があった。7/5自尿が無くなり導尿が必要となり、医療看護的な支援が必要

となり看護小規模多機能コープ五日市に変更し、7/24 退院され利用開始となった。

利用中の経過

家族の介護への不安があり、しばらく泊りを利用されることとなった。利用中は、他の利用者と同様に、できるだけ座って過ごしていただいた。食事はほとんど吐き出して摂取されることはないが、家族の希望で他の利用者と同じ普通食を提供し、本人のお好きなオロナミンCやおかきで捕食する状態だった。入浴は普通浴で浴槽に入っていた。8/11 ごろより徐々に水分摂取量、尿量が減少し、8/14、スタッフの見守りの中 19:00 慢性心不全による呼吸憎悪のため永眠される。

参加者より、看取りについて、病院では最期まで治療をするので苦しみながら亡くなることもあったと聞かすが、こんなに自然体でいつも通りに過ごせたことで、穏やかな最期を迎えられたことが伝わった。地域の人に紹介したい。10 の基本ケアの効果が分かった。

9. その他

会議の開催について、次回から偶数月の第4火曜日 13:30 と決めた。

次回 2024 年 10 月 29 日 (火) 13:30~14:30